

 **4K・VR徳島映画祭**
4K VR TOKUSHIMA MOVIE FESTIVAL 2018

11/22(木) 23(金・祝) 24(土)

主催：徳島県4Kフォーラム実行委員会



*写真は昨年の様子（神山町寄井座商店街）



4K徳島映画祭とは

“日本でたったひとつ”4K映像に特化した映画祭。

全世界から応募された4K8K作品の中から優秀な作品を表彰し、期間中(11/22-24)において受賞作品、ノミネート作品の上映を行います。また食と文化の町・神山での滞在を楽しんで頂くために、作品鑑賞以外のプログラムもご用意。



徳島4Kフォーラム

昨年に続き4K8KをはじめVRなどの映像業界の最先端で活躍する方々をお招きし、セミナーやワークショップ、トークセッションを開催。また、最新の映像機器のデモンストレーションやシステムの展示を行います。

NEW



音楽コンテンツ

6年目を迎える今年の映画祭では新たに音楽コンテンツの要素を取り入れます。

音楽VRや次世代アーティストによるLIVEパフォーマンス。音楽の分野からその時代の“音楽”と次世代技術によるコンテンツを体感して頂けます。



FEEL *the* FUTURE
未来を体感

舞台は徳島県の山間部に位置する人口5600人の限界集落『神山町』
日本で最も注目を集める田舎町に2018年、4K徳島映画祭では「体感」をテーマに
映像、音楽、講演、それぞれの分野から
時代を反映する最先端コンテンツを田舎町、『神山町』から発信します。

未来を体感する

人工物×自然が調和した世界

あらゆるものの解像度が上がり、写真なのか本物なのか、画面の中なのか外なのか。やがて未来は人工物と自然界の区別がつかなくなるという思想が近代広がっています。今年の映画祭はテクノロジーと自然界が融合した未来の世界がモチーフです。

田舎町神山町から最先端を発信

絶え間なく進化する現代。当たり前のように4Kという言葉が浸透する現代において、4Kはもう未来ではなく、一般家庭でも気軽に実感できるコンテンツです。

映画祭では「体感」をテーマに4Kや8Kの高精細作品だけではなく、VRや360°シアターなど様々な最先端コンテンツを用意し、人工物と自然、さらには田舎と都会の境界線をも無くし、いずれ来る4Kの先の近未来をどこにいても体感できる。

まさに自然＝神山町×近未来＝人工物。つまりはリアルデジタルネイチャー体感していただけます。住む場所、仕事をする場所を問わない世界。

それが今年のテーマである「Feel the Future ～未来を体感～」です。



 **FEEL** *the* **FUTURE**
未来を体感

FEELthe4K
上映

～映像は観るから体験する時代へ～



4K&8Kシアター

昨年同様4K、8Kの高精細作品の公募を行い、シアターを設置し、上映。



VR体験

スポーツVRなどのVR体験ができるブースを多数設置。



360°シアター

ゴーグルをつけずに、360°の視界で映像を楽しむ360°シアターの設置。
えんがわ社所有コンテンツである、360°view阿波踊り等の上映。

FEELtheMUSIC
音楽

～音楽に関する時代を反映したコンテンツ～

6年目を迎える2018年、新たに音楽VRや次世代アーティストによるLIVEパフォーマンスを開催。
音楽の分野からその時代の“音楽”を体感して頂けます。

FEELtheVOICE
フォーラム

～時代を先駆ける著名人から感じる～

4K8KをはじめVRなどの映像業界の最先端で活躍する方々をお招きし、セミナー、トークセッションを開催。
また、今年は放送業界だけではなく、未来を体感というテーマを元にクリエイターの方や時代を先駆ける著名人の方々に登壇して頂き、Feel the Voice。“声”から未来を体感して頂きます。

FEELtheLOCAL

～神山町という地域性の体感～

WSや路上パフォーマンスや露店飲食販売などの実施。



*写真は昨年の映画祭にて、阿波踊りやWSの様子



会場は旧神山町立「広野小学校」

今年の会場は神山町にある廃校を使用。

映画祭を訪れる全ての人々が学園生活を思い出し、

主体的に映画祭に関わることができます。

また、映画祭に来た人々が自分の学生時代を思い出して懐かしんでもらうと共に、4KやVRを始めとする最先端技術が体験できる、

「懐かしいけど新しい」を体験できます。

神山町という山の中の学校で、普段は関わることのない人々とのつながりが生まれるようにという思いがあります。



会場MAP

旧神山町立広野小学校

〒771-3201

徳島県名西郡神山町阿野広野22

公共交通手段はバス

徳島駅から約50分



2017

大賞

「伊勢神宮・命あふるる神々の森 五十鈴川に行く」(株式会社 CBC テレビ)

優秀賞

「アリの目から見た昆虫王国 4K 森の王者編」(株式会社 TBS ビジョン)

「4K でよみがえる浮世絵 2 歌川広重『名所江戸百景』」(立教大学 現代心理学部)

4K 映像賞

「8K HDR Fantasy LUNA」(ROBOT)

4K ドキュメンタリー賞

「4K で甦る 世紀のご成婚パレード TOKYO1959」(株式会社 TBS ビジョン/株式会社 毎日映画社)

「ノーマン・ザ・スノーマン ～流れ星のふる夜に～」(太陽企画 株式会社)

ケーブルキャスト賞

「あの日まで」(株式会社 NHK メディアテクノロジー)

ひかりTV賞

「とくしまドローン紀行 そらたび」(ケーブルテレビ徳島 株式会社)

徳島県知事賞

「Love Every Second of Sydney in Flow Motion」(Rob Whitworth Photography)

地域作品賞

「四国、秘境をめぐる 仁淀ブルーと秘湯祖谷」(名古屋テレビ放送株式会社)

2016

大賞

「キノイロ美瑛～北海道びえい絵巻～」(ターナージャパン株式会社)

優秀賞

「報道ステーションSUNDAY×4K“アクタン・ゼロ”運命を変えた零戦の真実」(株式会社テレビ朝日)

「にっぽん4K巡り 沖縄編 漆の王国 琉球の美を巡る」(琉球放送株式会社)

徳島県知事賞

「小さな世界はワンダーランド」(株式会社サライ放送)

2015

大賞

「タイムトリップ軍艦島」(株式会社フジテレビジョン)

優秀賞

「ノーマン・ザ・スノーマン」(太陽企画株式会社 エクスプローラーズジャパン)

「うみやまあひだ」(株式会社ジェネレーション・イレブン・ピクチャーズ)

徳島県知事賞

「眠れない夜の月」(太陽企画株式会社 エクスプローラーズジャパン)

2017

審査委員長

審査委員

飯泉 嘉門 徳島県知事

総務省 情報流通行政局 衛星・地域放送課長 井幡晃三 様

株式会社NTTぷらら 代表取締役社長 板東浩二 様

株式会社ジュピターテレコム 上席執行役員 メディア事業部門長 村山直樹 様

日本デジタル配信株式会社 代表取締役社長 河村浩 様

ジャパンケーブルキャスト株式会社 専務執行役員 田中慶彦 様

NHKメディアテクノロジー株式会社 常務取締役 梅田智志 様

日本テレビ放送網株式会社 日テレラボ シニアクリエイター 土屋敏男 様

映画監督 金子修介 様（「デスノート」他）

映画監督 蔦哲一郎 様（「蔦監督 -高校野球を変えた男の真実-」他）

四国大学 教授 山本耕司 様

2016

審査委員長

審査委員

飯泉 嘉門 徳島県知事

総務省 情報流通行政局 衛星・地域放送課長 鈴木信也 様

株式会社NTTぷらら 代表取締役社長 板東浩二 様

ジャパンケーブルキャスト株式会社 取締役 田中慶彦 様

株式会社アクトビラ 代表取締役社長 中村忠司 様

NHKメディアテクノロジー株式会社 代表取締役社長 児野昭彦 様

日本テレビ放送網株式会社 編成局ゼネラル・プロデューサー 土屋敏男 様

映画監督 手塚昌明 様（ゴジラシリーズ監督）

映画監督 蔦哲一郎 様（「祖谷物語」他）

俳優 大杉漣 様

上智大学 教授 音好宏 様

四国大学 教授 山本耕司 様

2017

入場者数	約4,800人
応募作品	124作品
参加企業	東京光音、パナソニックシステムワークス、ソニービジネスソリューションなど16社
セミナー講演	総務省井幡課長、総務省清重課長など約35人

2016

入場者数	約3,400人
応募作品	105作品
参加企業	ダズル、東京光音、パナソニックシステムワークス、ソニービジネスソリューションなど約12社
セミナー講演	飯泉県知事(徳島)、阿部県知事(長野)など約50人

2015

入場者数	約2,900人
応募作品	60作品
参加企業	EMCジャパン、メディアエッジ、プロドローン、NHKメディアテクノロジーなど約13社
セミナー講演	飯泉県知事(徳島)、総務省鈴木課長など約30人

SONY

Panasonic



開催日	2018年11月22日(木)~24日(土) レセプション/表彰式は22日(木) @会場内体育館
会場	旧神山町立広野小学校(現廃校) 〒771-3201 徳島県名西郡神山町阿野広野22
作品公募期間	7月7日(土)~8月31日(金) 4K・8K・VR作品の募集
一次審査	9月中旬
最終審査	10月中旬